

令和5年度事業報告

1. 事業部門(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

弊財団の令和5年度の事業運営では、令和4年度末に収益目的事業「ふれあいの輪」季刊誌発行を公益目的事業へ変更認定申請を行いました。その結果、公益目的事業の情報提供事業として「ふれあいの輪」Web版の刊行が許可されました。また、設立以来の財団名称をこの4月1日から新たな名称「公益財団法人フランスベッド・ホームケア財団」に変更いたしました。

令和5年度においてはDXの推進等により、業務の簡素化や効率化を図ることでミスや無駄をなくす為の準備を整えた年度となりました。

年度会計において、公益目的事業の6事業部門では、マイナス2,921,624円、法人会計ではプラス383,863円の黒字で終了しております。収入面では株式の配当収入増加や株式売却益が挙げられますが、事業収益は「ふれあいの輪」が公益目的事業への移行に伴い減少しています。支出面では研究事業助成の助成金額の増加や、DX推進によるシステム構築の費用が増加しています。

また、資産運用では市場のマーケット環境において日米の金利差や円安・米ドル高といった為替の不確実性等が挙げられますが、基本財産運用検討委員会の元で適宜報告と検討を行い安心して安全な債券運用を行っております。

今後は公益目的事業の継続性と財務基盤の充実を図ります。また収支面のバランスを確実なものとするために、基本財産運用収益金、株式配当金並びに寄附金収入により、事業計画（公益目的事業の教育研修事業等）や支援助成事業の執行並びに公益性を以って事業の計画を実行いたします。

弊財団は設立33周年を迎え、新たな在宅ケアの推進、啓発活動に取り組み、更なる社会貢献を目指していくべく事業の推進を図ると共に、体制の構築を目指し、実のある支援を図ってまいり所存であります。

具体的には公益目的事業の医療、介護、福祉の分野から課題の取組を模索し、多様化するニーズを捉え、将来に向けた事業の展開を図ってまいります。

[1]公益目的事業

I. 研究事業助成事業（公1:在宅ケアに関する研究及び事業に対する助成事業）

在宅ケア推進の一環として、研究助成・事業助成を行い、もって国民医療・福祉の向上に寄与するものであります。

1)研究・事業助成事業

●1. 令和5年度(第34回)第1回選考委員会「Web会議」

決議日	令和5年2月10日(金)
開催方法	Web会議(配信場所:フランスベッド(株)メディカレント東京3階会議室)
選考委員	内田 恵美子(Web出席)・角田 亘(Web出席)・佐々木 淳(Web出席) 福井 小紀子(Web出席) 欠席者:新田 國夫
厚生労働省	[厚生労働省 医療関連サービス室長] 原 慎治(Web出席)
フランスベッド・ ホームケア財団	[会長]松谷有希雄(Web出席)・[理事長]池田茂(Web出席) [選考担当理事]田原啓佐(会場出席) [常務理事]澤本美佐緒(会場出席)・[事務局長]高巢勝則(会場出席)
議 題	令和5年度研究助成・事業助成・ボランティア活動助成金募集要項他について

「議事次第」

- 1) 助成事業の視点（選考委員会選考基準内規）（案）、及び評価シート（案）
- 2) 令和5年度研究・事業・ボランティア活動助成募集要項（案）について
- 3) 令和5年度研究・事業・ボランティア活動助成金申請書（案）について
- 4) 助成募集スケジュール（案）について
- 5) その他
- 6) 報告事項

●2. 令和5年度選考委員会(第2回)

日 時	令和5年5月18日〔木〕 17:30～19:00
場 所	会場:京王プラザホテル 4F かつら
選 考 委 員	内田 恵美子、角田 亘、佐々木 淳、 新田 國夫、福井 小紀子、
厚生労働省	[医政局地域医療計画課 医療関連サービス室長]原 慎治
フランスベッ ド財団	[会長]松谷 有希雄、[理事長]池田 茂、[常務理事]澤本美佐緒、 [選考担当理事]田原 啓佐、 [事務局長]高巢 勝則
議 題	令和5年度研究助成・事業助成・ボランティア活動助成金採用の審議

「議事次第」

- 1) 令和5年度応募状況について
 - (1)令和5年度応募件数64件（研究43件・事業16件・ボランティア5件）
 - (2)応募者の属性
 - (3)応募・採用件数及び金額一覧表
- 2) 令和5年度助成金採用の審議
- 3) 選考結果の公表及び通知等の日程について
- 4) 報告事項
 - (1)令和4年度（第33回）助成の状況
 - (2)令和3年度（第32回）助成の成果の報告状況
 - (3)委託調査研究について

●3. 令和5年度(第34回)助成の対象及びカテゴリー

○助成の対象

- ・在宅ケア等に関する創意工夫を生かした自発的な事業又は先駆的、実験的なモデル事業であって、地域の実情に即したきめ細かな研究事業で普及の可能性の有るものに対し助成を行う。
 - ・対象者
 - ◆臨床や地域で従事している職員及び福祉機器・医療機器の事業者の個人あるいはグループを対象とする。
 - ◆大学院生を対象とする。但し、指導教員の推薦書（別紙様式1-3）が必要です。
- ※研究助成については大学教員の申請者は、応募の対象外といたします。

（１）研究助成カテゴリー

- ①地域包括ケア・訪問看護・在宅介護支援の拡大、およびこれらの質の向上に関する研究
- ②病院から在宅療養への連携（病診連携、病院薬剤師と薬局薬剤師の連携、病院看護師と訪問看護師との連携及び訪問看護師同士の連携）に関する研究、在宅医療・介護に関する研究
- ③リハビリテーション活動や機器に関する研究
- ④難病や終末期及び精神障害の在宅医療・看護・介護支援強化に関する研究
- ⑤福祉用具の開発及び活用・効果・安全管理に関する研究
- ⑥その他（医療行為の安全、海外のホームケア、災害後のケア）

（２）事業助成カテゴリー

- ①在宅療養者への医療・看護・介護サービス実施事業
- ②疾病や生活機能障害を持つ人（例：高齢者や障害者（児）等）の在宅ケア推進関連事業
- ③認知症、難病、終末期、精神障害、被虐待等の在宅医療・看護・介護支援強化に関する事業

(3) ボランティア活動助成

○在宅ケアの推進に資する事を目的として、疾病や生活機能障害を持つ人（例：高齢者や障害者（児）等を対象として公益のために活動しているボランティア団体に対して助成いたします。

●4. 研究・事業助成採用について

実施時期	助成金決定日～令和6年3月31日		
募集期間	令和5年2月15日～令和5年4月14日		
応募総数	64件	採用件数:36件	助成金総額:12, 343, 000円
助成金累計総額	505, 730, 000円		

※助成応募・採用件数及び金額一覧表の推移は次の資料のとおりです。

助成応募・採用件数及び金額一覧表

令和5年5月18日現在

年 度	応募件数	採用件数	採用率 (%)	内 訳						応募予算 1件当たり10万～100万	実 績
				研 究		事 業		ボランティア			
				件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比		
平成2年度	64	31	48.4	17	54.8	14	45.2			3,000 万円	2,597 万円
平成3年度	67	31	46.3	17	54.8	14	45.2			3,000 万円	3,049 万円
平成4年度	59	31	52.5	21	67.7	10	32.3			3,000 万円	3,000 万円
平成5年度	61	21	34.4	15	71.4	6	28.6			2,000 万円	1,760 万円
平成6年度	50	14	28.0	11	78.6	3	21.4			1,500 万円	1,300 万円
平成7年度	54	16	29.6	12	75.0	4	25.0			1,500 万円	1,296 万円
平成8年度	46	18	39.1	13	72.2	5	27.8			1,500 万円	1,285 万円
平成9年度	44	17	38.6	13	76.5	4	23.5			1,500 万円	1,355 万円
平成10年度	56	22	39.3	13	59.1	9	40.9			2,000 万円	1,800 万円
平成11年度	49	19	38.8	11	57.9	8	42.1			1,500 万円	1,350 万円
平成12年度	35	19	54.3	14	73.7	5	26.3			1,500 万円	1,400 万円
平成13年度	37	19	51.4	12	63.2	7	36.8			1,500 万円	1,402 万円
平成14年度	45	19	42.2	16	84.2	3	15.8			1,500 万円	1,208 万円
平成15年度	44	20	45.5	14	70.0	6	30.0			1,500 万円	1,408 万円
平成16年度	39	24	61.5	21	87.5	3	12.5			2,000 万円	1,752 万円
平成17年度	87	30	34.5	22	73.3	8	26.7			1,700 万円	1,750 万円
平成18年度	95	39	41.1	30	76.9	9	23.1			2,500 万円	2,488 万円
平成19年度	81	40	49.4	36	90.0	4	10.0			3,000 万円	2,892 万円
平成20年度	96	46	47.9	39	84.8	7	15.2			3,000 万円	2,891 万円
平成21年度	6	5	83.3	0	0.0	5	100.0			300 万円	205 万円
平成22年度	54	15	27.8	11	73.3	4	26.7			600 万円	584 万円
平成23年度	45	11	24.4	9	81.8	2	18.2			500 万円	510 万円
平成24年度	55	19	34.5	17	89.5	2	10.5			500 万円	514 万円
平成25年度	70	26	37.1	22	84.6	4	15.4			500 万円	874 万円
平成26年度	57	49	86.0	19	38.8	7	14.3	23	46.9	1,200 万円	1,103 万円
平成27年度	76	51	67.1	25	49.0	6	11.8	20	39.2	1,200 万円	1,228 万円
平成28年度	46	34	73.9	15	44.1	10	29.4	9	26.5	1,200 万円	1,094 万円
平成29年度	64	45	70.3	26	57.8	7	15.6	12	26.7	1,200 万円	1,319 万円
平成30年度	59	35	59.3	18	51.4	12	34.3	5	14.3	1,200 万円	1,181 万円
令和元年度	58	39	67.2	21	53.8	10	25.6	8	20.5	1,200 万円	1,304 万円
令和 2 年度	53	34	64.2	23	67.6	6	17.6	5	14.7	1,200 万円	1,204 万円
令和 3 年度	47	32	68.1	24	75.0	3	9.4	5	15.6	1,200 万円	1,153 万円
令和 4 年度	44	30	68.2	20	66.7	4	13.3	6	20.0	1,200 万円	1,083 万円
令和 5 年度	64	36	56.3	20	55.6	11	30.6	5	13.9	1,200 万円	1,234 万円
合 計	1,907	937	49.1	617	66	222	34	98	10	53,100 万円	50,573 万円

令和5年度(第34回)研究助成・事業助成・ボランティア活動助成 採択者一覧表

応募件数《合計 64 件》

■研究助成 43 件(一般:31 件／大学院生 12 件) ■事業助成 16 件 ■ボランティア活動助成 5 件

採択件数《合計 36 件》 ■研究助成 20 件(一般:14 件／大学院生 6 件) ■事業助成 11 件

■ボランティア活動助成 5 件

■研究助成

①地域包括ケア・訪問看護・在宅介護支援の拡大、およびこれらの質の向上に関する研究(6 件)

	所属施設名・団体名	所属部署名	役職名・職名	申請者氏名	テーマ
1	国立精神・神経医療研究センター	病院臨床研究・教育研修部門	教育研修部 臨床研究・教育研修室長	ヨコイ ユウマ 横井 優磨	認知症・軽度認知障害介護者向けオンライン医療介護指導
2	福井大学大学院	医学系研究科看護学専攻	大学院生	ハシモト ケンスケ 橋本 憲祐	生活介護事業所における医療的ケア者受け入れの実態と受入れ促進要因
3	国立障害者リハビリテーションセンター 研究所	障害福祉研究部	流動研究員	オダジマ トモ 小田島 朋	医療的ケア児等コーディネーターの活動状況と課題に関する調査研究―地域における効果的な運用を目指して―
4	千葉大学大学院	看護学研究科高度実践看護学講座	大学院生	ゴトウ トモミ 後藤 智美	在宅領域で活動する特定行為研修修了者の自律した看護実践に関する質的研究
5	ななーる訪問看護デベロップメントセンター		主任研究員・看護師	セキグチ リョウコ 関口 亮子	入院によって心身の状態が低下した高齢患者・家族の在宅生活への適応を促すための訪問看護師のアセスメント視点および看護実践内容の明確化―退院直後の特別訪問看護指示期間中の訪問看護に焦点をあてて―
6	千葉大学大学院	看護学研究科	博士後期課程	カミモト タツヒト 上元 達仁	訪問看護管理者のリーダーシップの概念分析と尺度開発によるモデル検証

②病院から在宅療養への連携(病診連携、病院薬剤師と薬局薬剤師の連携、病院看護師と訪問看護師との連携及び訪問看護師同士の連携)に関する研究、在宅医療・介護に関する研究(3 件)

	所属施設名・団体名	所属部署名	役職名・職名	申請者氏名	テーマ
7	天心堂へつぎ病院		医師	ゴトウ アキヒコ 後藤 昭彦	誤嚥性肺炎の再発予測モデル構築と効果的予防法の決定
8	静岡県立大学	看護学部看護学科在宅看護学領域	客員共同研究員	ユザワ マサミ 湯澤 まさみ	退院支援の看護師の対応の現状と課題、対応策の検討―退院支援の業務改善や介護支援専門員との連携向上による在宅ケアを推進する取り組み―
9	医療法人 弘清会 四ツ橋診療所	在宅診療部	作業療法士	シモカワ タカヒロ 下川 貴大	ケアマネジャーの訪問におけるリハビリテーション専門職のアセスメント同行訪問の効果検討

③リハビリテーション活動や機器に関する研究(9件)

	所属施設名・団体名	所属部署名	役職名・職名	申請者氏名	テーマ
10	茨城県立医療大学大学院	保健医療学研究科	博士後期課程 1 年生	タカハシ カズシ 高 橋 一史	総合評価指標 Gait Profile Score を使用した神経発達障害児の歩行バイオメカニクスの特徴を明らかにするための検証研究
11	国際医学技術専門学校(常勤)/吉田整形外科病院(非常勤)	理学療法学科	専任教員	マズダ カズト 増田 一太	寝返り時の回転効率が低い機能的マットレスの開発
12	医療法人伯鳳会 はくほう会医療専門学校赤穂校	作業療法学科	専任教員(作業療法士)	シンド セイヤ 宍戸 聖弥	配慮が必要な子どもに対する保育士が求める支援ニーズの検討
13	京都府立医科大学大学院医学研究科リハビリテーション医学	研究生	管理栄養士	オガワ キミコ 小川 貴美子	在宅ケアを必要とする利用者の体組成評価に必要な計算式確立に向けた基礎的研究
14	東京都立大学大学院	人間健康科学研究科作業療法科学域	博士後期課程 3 年	タケダ サヨリ 武田 さより	高齢者における非利き手での短時間箸操作学習の脳内神経基盤の解明
15	埼玉医科大学総合医療センター	リハビリテーション部	理学療法士	クラハシ リクミ 倉橋 陸光	人工膝関節全置換術後患者における活動量が遅延性術後疼痛に及ぼす影響
16	医療法人弘善会 介護老人保健施設アロンティアクラブ	リハビリテーション部	係長・理学療法士	ワタナベ ケンタ 渡辺 健太	地域在住要介護高齢者における介護予防への取り組み ～オーラルフレイルと身体的フレイルに着目して～
17	橋本市市民病院	呼吸器センター 呼吸器外科	医長	オオハシ タクヤ 大橋 拓矢	ウェアラブル端末を用いた周術期合併症の早期発見と地域医療拡充への試み
18	季美の森リハビリテーション病院	リハビリテーション科	医師	オザキ ナオト 尾崎 尚人	日常生活動作、自動車運転における注意障害・脳卒中患者の視線解析

④難病や終末期及び精神障害の在宅医療・看護・介護支援強化に関する研究(2件)

	所属施設名・団体名	所属部署名	役職名・職名	申請者氏名	テーマ
19	国立精神・神経医療研究センター病院	医療連携福祉相談部/看護部	入退院支援係長	ハナイ アキコ 花井 亜紀子	神経筋疾患患者の胃瘻造設における協働意思決定と後悔に関する多施設共同研究
20	大阪大学大学院	医学系研究科保健学専攻	大学院生	ハラ ネネ 原 寧音	発達障害者の在宅生活を支える思春期からのきょうだい関係

⑤福祉用具の開発及び活用・効果・安全管理に関する研究(採用なし)

⑥その他(医療行為の安全、海外のホームケア、災害後のケア)(採用なし)

■事業助成

①在宅療養者への医療・看護・介護サービス実施事業(2件)

	所属施設名・団体名	所属部署名	役職名・職名	申請者氏名	テーマ
21	一般社団法人 IT&診断支援センター・北九州		専務理事	イワツボ ジョウジ 岩 坪 譲 治	1人暮らしの高齢者と、その支援者をつなぐ穏やかな見守りシステムの構築
22	特定非営利活動法人 難民を助ける会	支援事業部	部長	クボタ カズミ 久保田 和美	カンボジア現地団体の技術能力強化を通じた女性障がい者の生活の質向上事業

②疾病や生活機能障害を持つ人(例:高齢者や障害者(児)等)の在宅ケア推進関連事業(3件)

	所属施設名・団体名	所属部署名	役職名・職名	申請者氏名	テーマ
23	日本大学	医学部 医学教育学分野	研究員	柳瀬 恭一	高齢者並びに障碍児向け心身虚弱化防止事業
24			理学療法士、福祉用具プランナー、ノーリフトケアコーディネーター、防災士	シマカワ ヒロミ 島 川 弘美	三層強化ダンボールを使った高齢者及び障害者の福祉用具作成支援
25	一般社団法人子育て交流ぽーとtete	訪問看護ステーションtete	代表理事・訪問看護管理者	ヒラヤマ サチコ 平 山 沙知子	医療的ケア児とその家族の交流と在宅生活を支援するピアサポート

③認知症、難病、終末期、精神障害、被虐待等の在宅医療・看護・介護支援強化に関する事業(6件)

	所属施設名・団体名	所属部署名	役職名・職名	申請者氏名	テーマ
26	京都看護大学大学院	看護学研究科 地域生活支援探究領域 保健師コース	准教授	イシイ アツコ 石井 敦子	非がん在宅療養者を支える緩和ケアネットワーク事業
27	ゆめ伴(とも)プロジェクト in 門真実行委員会		代表	カクワキ チカ 角脇 知佳	認知症になっても輝けるまちへ～いのち輝く折り鶴100万羽プロジェクト～
28	特定非営利活動法人 心の絆ネットワーク		理事長	コダマ ヒロシ 兒 玉 宏	「あらゆるあなたが支援者に」～市民後見講座の開催
29	特定非営利活動法人 全国盲老人福祉施設連絡協議会	事務局	事務局長(理事)	トキワ ショウハン 常 盤 勝範	ベトナム看護大学生へのサマーキャンプ(日本語教室)の実施
30	学校法人浪商学園 大阪体育大学	社会貢献センター	教授	タツミ カズエ 辰巳 佳寿恵	精神疾患をもつ親のための、ピア・専門職協働による支援システム構築プロジェクト
31	た〜んとLIFEの会		代表:キャリアコンサルティング2級技能士、精神保健福祉士、公認心理師	アサダ ナツミ 浅田 夏見	元ヤングケアラーへの対話によるメンタル支援実施及びヤングケアラーのキャリア支援の啓発による在宅医療・介護支援力の向上のための社会づくり

■ボランティア活動助成(5件)

	所属施設名・団体名	所属部署名	役職名・職名	申請者氏名	テーマ
32	憩いの場「すばる」		代表・管理者	ウチダ エイジ 内田 英治	地域住民を対象とした交流場の提供で生活の活性化や質の向上を図る
33	合同会社白ねこグループ	社会貢献事業部	部長	オガワ リク 小川 璃久	ファッションを通じて患者さんに笑顔を！
34	札幌医科大学附属病院	リハビリテーション部	理学療法士	ササガワ コトネ 笹川 古都音	小さく生まれた子どもたちの運動発達支援～こどもうんどう教室～
35	駒ヶ根ぼっちゃクラブ		会長	シモジマ カズヨシ 下 嶋 一 義	ボッチャ大会開催
36	メイクボランティア団体 きらめ輝山口		会長	オカベ ナオコ 岡部 尚子	施設訪問によるメイクボランティア活動2023

採択数	助成金額
研究助成 20 件	¥8,543,000
事業助成 11 件	¥3,300,000
ボランティア活動助成 5 件	¥500,000
採択数合計 36 件	¥12,343,000

Ⅱ. 教育研修事業〔公2:在宅ケア関連サービスに関する、人的育成を図るために教育 研究事業並びにセミナーを通じての啓発活動事業〕

●令和5年度教育研修事業

1)	福祉用具専門相談員指定講習
2)	リフトリーダー養成研修
3)	車いすシーティング研修
4)	福祉用具プランナー認定講習
5)	介護支援専門員講習(オンデマンドセミナー)

1)福祉用具専門相談員指定講習の実施

：福祉用具専門相談員講習会の開催 7日間 50時間

・日時:令和5年11月8日(水)、9日(木)、10日(金)、16日(木)

11月17日(金)、18日(土)、19日(日) 合計7日間

・会場:①『遠隔講義』11月8日(水)・9日(木)・10日(金)、16日(木)【4日間】

(1) 公益財団法人フランスベッド・ホームケア財団から配信

(2) 社会福祉法人浴光会 国分寺病院から配信

(3) マロニエ医療福祉専門学校 理学療法士学科から配信

②『集合研修会場』11月17日(金)、18日(土)、19日(日)【3日間】

「フランスベッド(株)メディカレント東京3階」

住所:東京都小平市天神町 4-1-1

・参加人数:13名(内、補講者2名)

・受講料:40,000円

※福祉用具専門相談員指定講習報告はHPに掲載しています。

2)リフトリーダー養成研修の実施

●第1回リフトリーダー養成研修(札幌市開催)

・日時:令和5年6月9日(金)～10日(土) 2日間

・場所:札幌市産業振興センター

「札幌市白石区東札幌5条1丁目 1-1」

・参加者:34名 再試験者(リフトインストラクター)2名

・受講者職種:介護福祉士、OT、PT、福祉用具専門相談員

・受講料:15,000円(内、テクノエイド協会2,700円)

※この研修終了後に、リフトインストラクター認定試験を実施。

筆記試験・実技試験

※第1回リフトリーダー養成研修報告はHPに掲載しています。

●第2回リフトリーダー養成研修(広島市)開催

・日時:令和5年10月13日(金)～10月14日(土)

・場所:フランスベッド:広島ショールーム 会議室

「広島県広島市安佐南区大塚西 4-16-1」

・参加者:23名

受講料:15,000円(内、テクノエイド協会2,700円)

※この研修終了後に、リフトインストラクター認定試験を実施。

筆記試験・実技試験

※第2回リフトリーダー養成研修報告は HP に掲載しています。

3)車いすシーティング研修の実施

- ・主 催 / 公益財団法人フランスベッド・ホームケア財団
- ・協 力 / 日進医療機器株式会社、フランスベッド株式会社メディカル東北営業所
- ・期 間 / 令和5年 7月22日 (土)
- ・参加人員 / 18名
- ・研修内容 / カリキュラム参照
- ・会 場 / フランスベッド:仙台ショールーム
「宮城県仙台市宮城野区岩切分台 2-12-12 」

※第1回の車いすシーティング研修報告は、当財団 HP に掲載しています。

4)福祉用具プランナー認定講習の実施

:福祉用具プランナー認定講習(東京)の開催 100.5時間

- ・日時:令和5年 11月13日(木)～令和6年1月12日(金) eラーニング期間
令和5年 12月14日(木)～17日(日) 4日間 前期集合研修
令和6年1月 19日(金)～21日(日) 3日間 後期集合研修
- ・主催:公益財団法人テクノエイド協会
- ・集合研修実施機関:(公財)フランスベッド・ホームケア財団
- ・場所:フランスベッド(株)メディカレント東京3階「東京都小平市天神町 4-1-1」
- ・参加人数:31名
- ・受講料:58,000円(内、21,000円テクノエイド協会)

※福祉用具プランナー認定講習(東京)報告は、当財団 HP に掲載しています。

5)〔講演会等〕介護支援専門員研修「オンデマンドセミナー」の実施

1. 啓発研修会活動では、高齢者をはじめとする在宅療養者が必要とするニーズを捉え、医療・看護・介護に関連した利用者の目線に立った情報提供と在宅ケアを支える専門職の方への現任教育としてオンデマンドセミナーを実施しました。
2. オンデマンドセミナーの実施
 - 2023年度は全国を6ブロックに分け実施いたしました。
北海道ブロック、東北ブロック、関東甲信越ブロック、中部・静岡ブロック
関西四国ブロック、中国九州ブロック

3.テーマ

●成年後見人制度について

第1部:『成年後見人制度の概要と現状について』

講師:三菱 UFJ 信託銀行 MUFJ 相談研究所

主任研究員 玉置 千祐 氏

第2部:『成年後見人制度を導入にあたっての介護支援専門員が果たす役割について』

講師:公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート

相談役・司法書士 松井 秀樹 氏

4. オンデマンド配信(録画配信)

●全国 6 ブロック毎に配信期間を設定し案内しました。

5. 募集人員

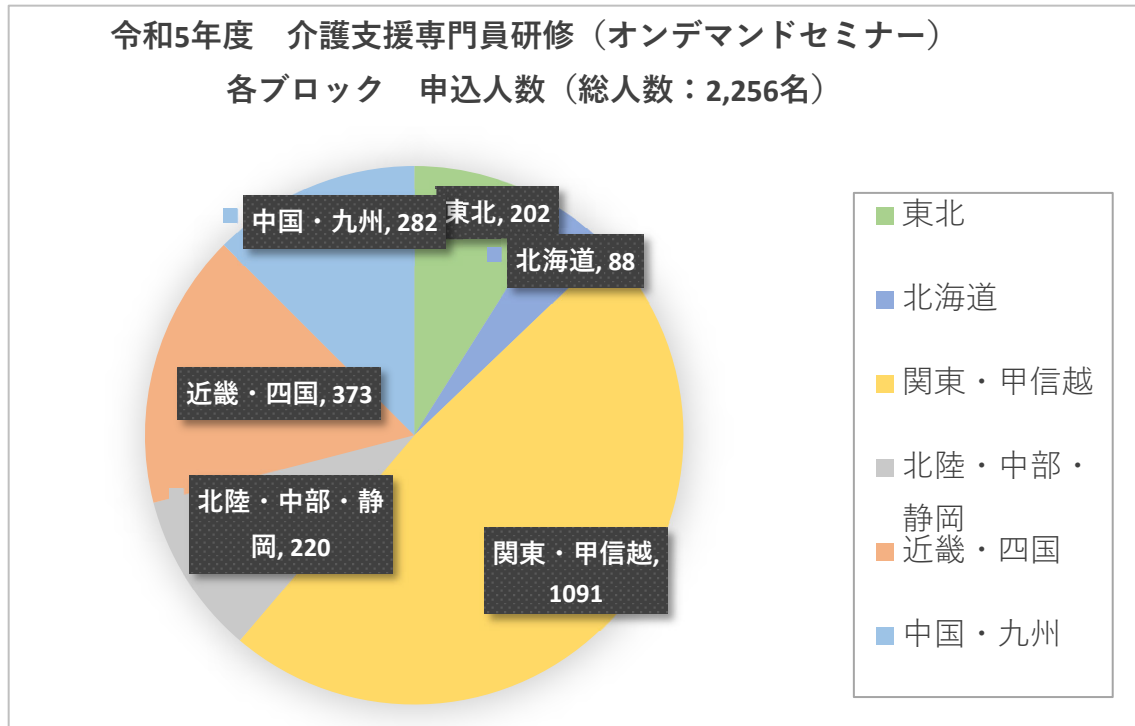
各ブロック 500名

●介護支援専門員研修(オンデマンドセミナー) 全国 6 ブロック

	ブロック	チラシ・DM 送付	チラシ・DM 配布	申込期間 締切期間	オンデマンド 配信期間
			募集期間		
1	東北 B	チラシ	8月8日(水)～ 9月8日(金)	8月8日(水) ～ 9月15日(金)	9月25日(月) ～ 10月24日(火)
		DM(ハガキ)	青森県・秋田県		
2	北海道 B	チラシ	9月20日(水)～ 10月19日(木)	9月20日(水) ～ 10月25日(水)	11月1日(水) ～ 11月30日(木)
		DM(ハガキ)	小樽市・釧路市・苫小牧市 旭川市・函館市・千歳市		
3	関東・ 甲信越 B	チラシ	10月30日(月)～ 11月29日(水)	10月30日(月) ～ 12月4日(月)	12月11日(月) ～ 1月10日(水)
		DM(ハガキ)	群馬県・栃木県・茨城県		
4	中部・ 静岡 B	チラシ	12月27日(水)～ 1月29日(月)	12月27日(水) ～ 1月29日(月)	2月1日(木) ～ 2月29日(木)
		DM(ハガキ)	岐阜県・石川県・富山県		
5	関西・ 四国 B	チラシ	2月13日(火)～ 3月13日(水)	2月13日(火) ～ 3月13日(水)	3月19日(火) ～ 4月19日(金)
		DM(ハガキ)	大阪府・滋賀県・京都府・ 和歌山県・兵庫県・香川 県・高知県・愛媛県・徳島 県・岡山県		
6	中国・ 九州 B	チラシ	3月25日(月)～ 4月26日(金)	3月25日(月) ～ 4月26日(金)	4月30日(火) ～ 5月29日(水)
		DM(ハガキ)	沖縄県・長崎県・佐賀県 宮崎県・鹿児島県		

※オンデマンド配信期間終了時にはアンケートを回収し、アンケートに回答していただいた方にフィードバックいたしました。(令和6年5/23現在、中部・静岡ブロックまで送付)

6. 各 6 ブロック別申込者一覧表



Ⅲ. 支援助成事業〔公3:在宅ケアの対象となる高齢者や難病の子どもたち等への組織に対する支援助成事業〕

在宅ケア推進の一環として在宅ケアに関する研究および事業に対する助成並びに在宅ケアに関する調査研究および情報提供を行い、もって国民医療の向上に寄与することを目的としております。

1. 支援助成事業

令和5年度の支援助成事業としては、高齢者福祉分野への助成を実施しています。

(1) 高齢者福祉分野への助成カテゴリー

- ① 地域やコミュニティの高齢者を元気にする活動
- ② 高齢者の生きがいや、やりがいをサポートする支援活動
- ③ 健康で生き生きと暮らせる基盤づくりを推進する活動
- ④ 高齢者が知識・技術・経験をいかして実施する活動

・申込団体・グループ名：健康いきがい学会 会長 辻 哲夫

・助成対象となる事業内容：健康いきがい学会第13回大会

・健康いきがい学会第13回大会 開催要項

① 開催方法：オンライン・ハイブリット方式

② 日時：2023年（令和5年）10月14日（土）

- ③ 会場:江戸川学園おおたかの森専門学校
- ④ テーマ:少子高齢化社会における共生の健康いきがいを創る
～健康いきがい活動を拓く「企助」の登場～
- ⑤ プログラム:分科会 第1分科会 フレイル予防と健康いきがい
第2分科会 在宅医療と健康いきがい
第3分科会 ロボット・AIの活用と健康生きがい
第4分科会 地域共生と健康生きがい
第5分科会 人生100年時代の学習と健康生きがい

(2)支援助成金額 300,000円

IV. 調査、研究委託事業〔公4:在宅ケアに必要とする医療や看護、介護の総合的な 資質 の向上を図る目的のもとに調査、研究の実施事業〕

在宅ケアに関する調査、研究並びに情報の収集を行い、分析の結果による課題を整理し在宅ケアに携わる専門職に情報提供することで在宅ケアの質的な向上を図ることを目的としています。

(調査、研究委託事業の流れ)

1. 期初に本年度の財団の実施する調査、研究のあり方検討委員会を立ち上げ、計画の立案を策定いたします。
2. 調査、研究を行うための財源としては
公益目的事業の区分会計処理を行い、基本財産の運用益もしくは寄付金による共通費から支出し確保してまいります。
3. 調査、研究の成果の公表としては、年度に調査、研究が終了した段階で報告書を作成し、関係機関への送付を行います。

(令和3年度の調査研究委託事業報告書作成)

令和3年度の調査・研究委託事業が新型コロナウイルスの感染症拡大の為、予定通り進まず令和4年度に持ち越され、報告書が令和5年度に提出される形となりました。在宅ケアに関する調査・研究並びに情報の収集及び提供を行う事業(以下「調査研究委託事業」という。)を実施いたしました。

調査研究委託事業は、次のとおりとする。

1. 福祉用具の活用・効果に関する調査・研究の委託事業
2. 委託先:一班 医療法人社団永生会 永生病院
二班 有限会社望月彬也リハデザイン 代表取締役 望月彬也

(2022年度調査、研究事業のテーマ)二班での実施した報告書の作成

一班	調査研究事業テーマ	「マルチポジションベッド導入効果の検証」患者・職員それぞれの視点から効果を検証する。
	目的・意義	マルチポジションベッドは「ベッドポジション」(寝姿勢)、「リクライニングポジション」(長座位)、「シーティングポジション」(端座位)、「スタンディングポジション」(立ち上がり)という4つのポジションを取ることができるベッドである。各ポジションを様々な場面ごとに活用することで、リハビリ支援、誤嚥リスク軽減等のメリットを生むことが可能と考えられる。病院において試験的に導入し、患者に対しては自立支援や活動負担の軽減、職員に対しては介護負担軽減の面から効果を検証する。
	委託契約者	医療法人社団永生会 永生病院 看護部長 安藝 佐香江
調査研究期間		令和4年10月1日から令和4年11月末日まで
調査委託事業費		500, 000円

二班	調査研究事業テーマ	ICT 及び自立支援ベッド等福祉用具の活用による介護負担軽減評価
	目的・意義	ICT と様々な福祉用具のイノベーションを最大限活用し、病院入院患者や有料老人ホーム等施設入所者の自立を支援。看護職や介護職の精神的、身体的負担の軽減により、ゆとりをもち生き活きた看護・介護現場を創造し、未来ある日本独自の介護・看護システムの構築を目指すものである。
	委託契約者	有限会社望月彬也リハデザイン代表取締役 望月彬也
研究期間		令和4年1月 1 日から令和4年12月末日まで
調査委託事業費用		500, 000円

(令和5年度の調査研究委託事業)

1. 調査研究委託所属機関:一般社団法人日本ケアマネジメント協会理事長 白澤 政和
2. 調査研究委託事業内容
(研究主題)「コロナ感染拡大がケアマネジメントに与えた影響に関する研究」
3. 調査研究委託事業助成 金1, 000, 000円
4. 調査研究委託事業終了年月日 令和6年3月29日
5. 完了した調査研究委託事業の概要

2020年(令和2年)以降のコロナ感染拡大が利用者や家族、さらには医療、介護事業者を含めたケアマネジメントにどのような影響を及ぼしたのか、十分な調査や検証をなされていない。本調査では、コロナ感染がケアマネジメントに与えた影響を明らかにすることで、コロナ感染拡大時におけるケアマネジメントのあり方、または感染拡大に備えたケアマネジメントの視点や方法について提言するものである。

V.海外調査、研究、研修事業〔公5:海外の先進医療や福祉機器の先端技術の革新から見る総合的な視点から、視察、調査、研究、研修を実地し、国内への啓発事業〕

1. 海外研修について

①海外における高齢者対策へのサポート事業(福祉用具の専門職の人材育成研修会等の実施)

●タイ国日本式福祉用具レンタルサービス案件化調査(今年度の実施)

タイの地方自治体とのコラボレーションを前提に日本式の福祉用具レンタルサービスがタイの高齢社会に適合するかどうかの調査を実施

期間:令和5年12月5日～12月9日

場所:タイ国 パトゥムタニ県ブイントー市バンコクから車で60分。

財団参加:高巢事務局長・理学療法士 藤井 智 氏

12/6 介護技術研修

レンタルサービスの協議

12/7 東海機器工業洗浄・消毒センター

訪問マハチャック訪問(展示会出展業者)

12/8 タイ JICA 訪問・タイ JETORO 訪問

尚、報告書については「ふれあいの輪」Web 版トピックス 212 号(2023.4.1)に掲載。

VI. 情報提供事業〔公6:在宅ケア等を含め、医療・介護・看護分野等の専門的かつ有用な情報提供として、季刊誌「ふれあいの輪」の刊行及び情報提供事業〕

1)事業の概要について

●1. 高齢化社会が続き高齢者を取り巻く環境は、家族、地域、社会へ寄り添う医療看護、介護の在り方も多様化しています。季刊誌「ふれあいの輪」はこうした多様化する社会へ新しいケア、新しい施設、新しいサービス、新しい働き方等の情報を発信し、「ふれあいの輪」を通して新たな発見や情報の共有化を図ってまいります。より多くの方に閲覧いただけるよう、夏号より Web 版に切替えました。

●2. 「ふれあいの輪」Web 版にて年4回の刊行(春、夏、秋、冬)となります。

No.209 (夏号) 2023.7.1 刊行 「テーマ」 リハビリテーション	・介護最前線 入浴サービスなし、運動も脇役。「料理」の可能性を証明したかった 株式会社 SOYOKAZE 事業統括本部 部長 神永 美佐子 氏 ・知っとく
--	---

	日本最先端のリハビリテーションセンターとは？ 歩行訓練ロボットや電気刺激・磁気刺激装置を集約 AI を活用して回復予測も！ 十勝リハビリテーションセンター 院長 白坂 智英 氏 ・在宅ケア ケース事例 定期巡回型サービスとリハビリを両立させる方法を考えたい 〈監修〉国際医療福祉大学大学院 先進的ケア・ネットワーク開発研究分野 教授 石山 麗子 氏 ・福祉用具の活用事例(バイオネス) L300Go®で退院後も自宅で先進リハビリ簡単に装着してスマホで操作可能、モチベーションも継続できる。 株式会社アスワン 代表取締役社長 木川 靖洋 氏 ・トピックス (公財)フランスベッドホームケア財団令和5年度(第34回)助成事業の採用案件決定 64件の応募に対し、34件の採用決定
No.210(秋号) 2023.10.1 発行 「テーマ」 認知症	・介護最前線 “人生を支える”のが介護本来の仕事。 産学連携も介護 IoT 導入も、ゴールは同じです。 さわやか倶楽部／北九州市小倉北区 石本 将宏 氏 ・知っとく！ ポリファーマシー対策は多職種協働、 特に、医師と薬剤師の連携が必須となる。 東京大学医学系研究科 老年病学 教授 医学部附属病院 老年病科科長 秋下 雅弘 氏 ・ズームアップひと 公益社団法人 認知症の人と家族の会 代表理事 鎌田 松代氏 「家族の会」のさらなる周知、 そして当事者の声を社会に届けること。 私もここから始めます。 ・在宅ケア ケース事例

	小規模多機能の特性を生かした 独居・認知症高齢者の介護サービス導入 〈監修〉国際医療福祉大学大学院教授 日本ケアマネジメント学会理事長 白澤 政和 氏 ・令和4年度(第33回)／研究・事業助成採用事例 地域包括ケアを基盤とした在宅ケア推進のための感染対策リーダー育成事業 地域の力で感染を絶つ！ 感染症対策の地域リーダーの育成と支援 医学系研究科 大学院 保健学専攻 総合ヘルスプロモーション科学講座 准教授 内海 桃絵 氏 ・福祉用具の活用事例(GPS 徘徊感知器) もしもの徘徊でも安心！ 靴に装着した GPS で位置を特定
No.211号 2024. 1. 1 発行 「テーマ」 外国人人材	・介護最前線 インドネシアの看護学生を雇用・定着させる独自のスキームを開発 医療法人偕行会 海外人材開発部副部長 熊澤 和秀 氏 ・知っとく 農業がハブ。高齢者が主役の農福連携のまちづくりとは 社会福祉法人陶都会 事務局長 田中 良和 氏 ・ズームアップひと 外国人技能実習生から介護福祉士の合格第1号 介護の現場で外国人活躍の道のりを切り開く ケアハウスのぞみ チームリーダー介護福祉士 デヴィアングラニ 氏 ・福祉用具の活用事例 毎日の寝返り支援は腰に悪い、腕の巻き込みも怖い… これらの課題を「寝返り支援ベッド」が解決！ 特別養護老人ホーム 大洋園 介護長 小宮山 啓介 氏 ・在宅ケアケース事例 老々介護もしくは家族の介護力が足りない在宅介護をどう支えるか 国際医療福祉大学大学院 先進的ケア・ネットワーク

	開発研究分野 教授 石山 麗子 氏
No.212号 2024. 4. 1 発行 「テーマ」 介護ロボット	・介護最前線 UR 団地をリノベーションしてバリアフリーに。サ高住で元気なうちからセカンドライフを楽しむ。 ゆいま〜る多摩平の森/東京都日野市 ハウス長 味元 佳恵 氏 ・知っとく 1. 「介護ロボットの支援策を有効活用してください」 ・介護ロボットで人手不足を解消、現場の生産性向上と業務の効率化 厚生労働省 老健局高齢者支援課 介護業務効率化・生産性向上推進室 室長補佐 秋山 仁氏 氏 2. 介護保険制度改定のポイント 6 年に一度の重要な介護保険制度改定の柱は「介護と医療の連携」「処遇の改善」 厚生労働省 老健局 老人保健課 課長 医学博士 古元 重和 氏 ・福祉用具の活用事例 マルチポジションベッドとハグ 福祉用具を活用して可能な限り在宅介護を続ける 静岡県焼津市 Sさん夫婦 ・トピックス(JICA の民間連携事業に協力) グローバルに展開するフランスベッド(株)及びフランスベッド・ホームケア財団の在宅ケア推進・質向上活動 期間:令和5年12月5日～12月9日 場所:タイ国パトゥムタニ県ブイノー市バンコクから車で60分

2. 管理部門

令和5年度の当財団管理部門の概要につきましては、以下の通り報告いたします。

〔1〕許認可事項

なし

〔2〕会議開催状況

理事会、評議員会、企画委員会等の開催状況は次の通りです。

(1)理事会

第35回定時理事会(令和5年 5 月 31 日)Webハイブリット会議

- 第 1 号議案 特定費用準備資金(積立限度額の設定)
- 第 2 号議案 令和 4 年度 (令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 3 1 日)
事業報告及び決算報告の件
- 第 3 号議案 定時評議員会の招集通知について
- 第 4 号議案 保有株式の権利行使について
- 第 5 号議案 令和4年度研究事業助成採用について

第 36 回定時理事会(令和 5 年 10 月 20 日)Web ハイブリット会議

- 報告事項Ⅰ-1 令和 5 年度(令和 5 年 4 月 1 日～令和 5 年 9 月 30 日)
事業報告の件
- 報告事項Ⅰ-2 令和 5 年度(令和 5 年 4 月 1 日～令和 5 年 9 月 30 日)
財務諸表報告の件
- 報告事項Ⅰ-3 諸規定の改廃について

- 報告事項Ⅱ 2023 年下期の行事予定について

第 37 回定時理事会(令和 6 年 2 月 5 日)Web ハイブリット会議

- 第 1 号議案 令和 6 年度事業計画
- 第 2 号議案 令和 6 年度収支予算
- 第 3 号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて
- 第 4 号議案 選考委員の選任について

(2)評議員会

第 24 回定時評議員会(令和 5 年 6 月 15 日) Web ハイブリット会議

- 報告事項 1. 令和 4 年度(令和 4 年4月1日～令和 5 年3月 31 日)
事業報告
- 決議事項
- 第1号議案 令和3年度(令和3年4月1日～令和4年3月31日)
計算書類等承認の件・監事報告
- 第 2 号議案 任期満了に伴う評議員の選任の件
- 報告事項:
 - 1.特定費用準備資金(積立限度額の設定)
 - 2. 保有株式の権利行使について
 - 3. 令和 5 年度研究事業助成採用について
 - 4. 基本財産運用について
 - 5. 震災義援金募金残高額

第25回定時評議員会(令和6年2月22日)Webハイブリット会議

第1号議案 令和6年度事業計画

第2号議案 令和6年度収支予算書

第3号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて

その他報告事項

1. 令和6年度行事予定
2. 役員改選について
3. 35周年記念事業の検討について
4. 選考委員の継続選任について

(3)企画編集会議開催

第1回 季刊誌「ふれあいの輪」Web版夏号企画編集会議(令和5年5月16日)

- イ) 第209号の掲載内容の検討
- ロ) 各頁の進捗状況報告

第2回 季刊誌「ふれあいの輪」Web版秋号企画編集会議(令和5年8月3日)

- イ) 第210号の掲載内容の検討
- ロ) 各頁の進捗状況報告

第3回 季刊誌「ふれあいの輪」Web版冬号企画編集会議(令和5年10月25日)

- イ) 第211号の掲載内容の検討
- ロ) 各頁の進捗状況報告

第4回 季刊誌「ふれあいの輪」Web版春号企画編集会議(令和6年2月2日)

- イ) 第212号の掲載内容の検討
- ロ) 各頁の進捗状況報告

[3]内閣府提出資料

(1)事業報告等に係わる提出書

公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第22条第1項の規程により提出。

- ・提出日:令和5年6月26日(月)
- ・提出先:内閣府大臣官房公益法人行政担当
- ・提出資料:財産目録、役員等名簿、報酬等の支給の基準を記載した書類、計算書類等

(2)変更届書

公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第13条第1項に掲げる変更をしたので、同行の規程により届

- ・提出月日:令和5年8月2日
- ・内閣府大臣官房公益法人行政担当
- ・提出資料:役員の退任及び就任に伴う変更届資料

(3)事業計画の提出書

公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律22条第1項の規程により提出

- ・提出月日:令和6年3月13日
- ・提出先:内閣府大臣官房公益法人行政担当
- ・提出資料:事業計画、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込み等の書類

3. その他報告事項

[1]基本財産資産運用報告

① 令和5年7月25日「基本財産運用検討委員会」開催

基本財産資産残高一覧表明細			
投資銘柄	投資額	利回	取扱
第13回三菱UFJ劣後債	20,000,000	0.652%	野村
ソフトバンクG第51回無担保社債	100,000,000	2.030%	みずほ
東京電力パワーブリット債第31回社債	100,000,000	0.980%	みずほ
日本生命第2回劣後ローン流動化劣後債	100,000,000	1.030%	野村
コーラブルユーロ円建債（リバ債）	100,000,000	1.000%	野村
サムライ債（フランス電力第4回円貨社債）	100,000,000	1.088%	三菱UFJ
みずほFG第20回期限前償還条項付無担保債	5,000,000	0.390%	みずほ
外貨建て債リバ・固定利付債担保JT	100,000,000	0.500%	大和
円貨建て仕組早期償還条項付パワーデュアル債	100,000,000	2.100%	SMBG
ユーロ円建てコーラブル債（野村グローバルファイナンス）	100,000,000	1.750%	野村
定期預金	2,000,000		三井住友
普通預金	20,000,000		三井住友
株式（みずほFG）38,000株 3月末株価1,878円	71,364,000	4.526%	配当 323万円
小 計	918,364,000	1.227%	
株式（フランスベッドHD）40万株 3月末株価1,058円	423,200,000	3.025%	配当 1280万円
小 計	423,200,000		
合 計	1,341,564,000		

1.令和5年3月末基本財産
一覧表

運用明細	金額 & %
基本財産運用残高 （前年対比）	1,341,564,000円 （+ 89,018,000円）
基本財産運用益	25,778,734円
基本財産運用利率	2.058%

※株式銘柄一覧

株式	株式評価損益	株式配当金
FBH	77,200,000円	12,800,000円
みずほFG	11,818,000円	3,230,000円
合計	89,018,000円	16,030,000円

※FBH株価1,058円×40万株 = 423,200,000円
※みずほFG株価1,878円×3万8千株 = 71,364,000円
合計 = 494,564,000円

1. 運用目的と基本方針

▶ 当財団の運用の目的は、財団事業である公益事業を将来にわたり**安定的継続的**に遂行するために保有資産の運用収益未達により公益事業を縮小することや基本財産を取り崩す事態を極力回避するために、**許容されるリスクの範囲内**で必要とされる収益を中期的に確保することを運用の基本方針といたします。

2. 許容するリスク

▶ 資産運用の収益率の不確実性として許容できるリスクの統制指標については、当財団の中長期的な**事業計画**に要する**資金需要**と**中長期的なマーケット環境**を見据え、**別紙に定める資産ポートフォリオの構成割合とリスクウェイト**を加味したリスク金額とします。（資料①）

▶ 許容するリスクは、資産ポートフォリオの許容乖離幅内、並びにリスクウェイト加重後のリスク金額を**資産元本金額以内**とすることで統制管理します。

なお、年度末毎の定期的な見直しを行います。急激な環境変化に対しては、臨時の見直しを行います。

3. 令和5年度の運用方針

(1) 運用収益の目標値

①令和5年2月6日開催の第34回定時理事会において令和5年度の収支予算が承認されました（資料②）。

運用収益目標については、寄贈株式（366,000千円）の配当金（12,800千円）を除き、対象資産（924,045千円）の運用で、運用益13,859千円、**利回り1.49%を基準目標値**としました。

1) 寄贈株式を除いた運用対象資産：924,045千円

2) **運用目標値：運用益13,859千円、利回り1.49%**

②運用対象の内償還を迎えた債券以外は満期保有方針を継続いたします。

従って、令和5年度期初においては、足元までの満期償還等により銀行預金にて保有している**20,000千円が運用対象資産となります。**

1) 2023年度満期保有の既存債券：924,025百万円（年度収益：13,859円）

2) **2023年度期初 新規運用の対象金額：20百万円**

③資産運用検討委員会にて、リスク・リターンを勘案して資産運用案を策定いたします。

1) ロシアによるウクライナ侵攻とその後も戦争状態が継続しており、資源価格や金利・為替などの国際経済・金融市場が極めて不透明になる中、**債券運用市場においても潜在的な運用環境の不確実性が高まっています。**

2) 令和5年度の運用目標は変更いたしません、足元の市場環境を踏まえ、欧米の景気変動に大きく受ける**ミドルリスク商品**の選定に当たっては、**高格付けの発行体商品の中からリスク・リターンと運用期間を踏まえ、是々非々で選定していきます。**

3) 元本割れのリスクが比較的高い**商品（仕組債等）については、ポートフォリオの枠規制の中で運用してまいります。**

(2) 運営管理（決裁、報告、モニタリング、ロスカット、基本財産取崩し）

①運営において、証券会社等の金融機関との折衝を財団事務局長が担い、運用商品選択・締結に際しては、**運用検討委員会にて検討した資産運用案を資産運用委員会に提案し理事長を決裁を仰ぎます。**また、**定時理事会において結果の報告を行うもの**といたします。

②期中では、運用債券毎の時系列での**モニタリングを継続**することで可能な限り運用資産毀損リスクの予兆を察知し、**速やかに損切り（ロスカット）**を行って損失を拡大を防ぎます。

③令和5年度の運用目標値を達成できない場合は**基本財産の取崩し等の補填**を通じ、事業の継続を図ります。

3. 今後の運用資産の検討

1. 運用資産（預金残高2,000万円）

▶ 財団資産運用ポートフォリオ割合とリスクウェイトを加味した安全な債券の運用を行ってまいります。

2. 保有株式（みずほFG）の売却検討

▶ EB債の株式転換（2020年9月）から早3年間が経過しました。転換時の株価が順調に推移している状況から、**元本毀損額が縮小傾向**にあります。時期を見た中で売却の検討をいたしたく提案いたします。
また、株価の予想（レーティング）も各証券会社においては格差がありますが、今期中に前年度末の株価から現在まで、又は株価予想の推移を試算してみましたので、ご検討いただければと考えます。

	令和5年3月末 株数・株価	令和5年 3月末時価
①	38,000株×1,878円	71,364,000

4. 資産運用委員会開催

前頁2. の今後の運用資産検討の結果を踏まえ、各証券会社からの提案を基に債券の種類、運用期間、発行体の格付等の債券内容を策定し、運用検討委員会に提案し招集いたします。
また、株式の売却等については、**時期や市場マーケットの状況**を鑑み、適宜報告を行うとともにリモートにて招集いたします。

5. その他

② 株式の分割売却について(38,000 株)

②みずほフィナンシャルグループ株式会社売却明細

期日	株価	株数	時価	備考
令和5年3月末 A	1,878	38,000	71,364,000	
令和5年7月25日売却	2,235.50	4,200	9,389,100	
〃	2,235	13,800	30,843,000	
令和6年1月26日売却	2,630	20,000	52,600,000	
売却合計 B		38,000	92,832,100	
有価証券売却益 B-A			21,468,100	

③期中における債券購入

※新規組換え採用検討

- ・リスクウェイトの適合性「シニア債、社債、劣後債、永久劣後債」までの範疇」
- ・発行体の格付「A 格以上」
- ・新規購入の期間「5 年から 10 年未満」

債券購入日	購入債券	購入価格	運用利回り
令和6年2月29日	第59回三井住友トラストH 任意償還条項付永久劣後	98,900,000	1.730%
令和6年3月28日	第一生命HD第3回利払繰 延任意償還条項付永久劣後	96,015,000	1.124%

※購入時はアンダーパーの為、来期以降償却原価法を適用とする。

〔2〕インボイス制度への取組

●インボイス制度（請求書の記載要件：適格請求書）

- ・インボイス：売り手が発行する「請求書」の事
- ・請求書の記載要件：満たさないと消費税の仕入税額控除ができない
- ・適格請求書：記載要件を満たした請求書（消費税の仕入れ税額控除可能）
 - ➡国税庁登録「適格請求書発行事業者」が発行、必要事項が記載された請求書「適格請求書」
- ・2023年10月以降は適格請求書発行事業者が発行する請求書のみ仕入税額控除可能
- ・適格請求書発行事業者の登録申請書を所轄税務署へ直接又は電子提出
- ・2023年10月以降の発行請求書等に登録番号(T0000000000)を記載
当財団では令和4年10月末日に適格請求書発行事業者の登録申請書を提出済み

〔3〕DX 推進に向けた取り組み

ステップ1

研究助成・事業助成・ボランティア活動助成におけるエントリシート及び研修申込のシステム化

- ・申請書受付運用方法の見直し
- ・ホームページの改修依頼
- ・Quick Creator の導入及びシステム作成

ステップ2

申請書の一元管理及び電帳法への対応

- ・ドキュメント管理システムの導入及び環境作成
- ・電帳法の書類の洗い出し及びシステムへの登録・保管

〔4〕収益事業廃止に伴う国税、都道府県民税等の届

- ① 東村山税務署への収益事業廃止届提出
- ② 都道府県民税（立川都税事務所）均等割り免税申請書届書提出
- ③ 市民税（小平市役所）均等割り免税申請書届提出

〔5〕震災義援金募金額

※（管理口座名義：公益財団法人フランスベッド・ホームケア財団）

震災義援金口にて別会計口座の管理)

(単位:円)

研修会〔講演会〕	募金額	
前期繰越金	380, 563	
利息	1	
寄附先 (AAR ジャパン)	▲100, 550	大雨緊急支援(秋田)
寄附先 (AAR ジャパン)	▲100, 550	九州北部大雨緊急支援
寄附金募金(澤本常務理事)	10, 154	能登半島地震募金
寄附金募金箱	382	能登半島地震募金
寄附金募金(高巣事務局長)	10, 000	能登半島地震募金
寄附先(石川県能登半島災害義援金) 令和6年3月28日	▲200, 000	能登半島地震支援
令和6年3月31日現在 計	0	

※次年度より、災害時における支援金寄付は公益目的事業の支援金助成より対応いたします。